



9月給食だより

2025

小美玉学校給食センター

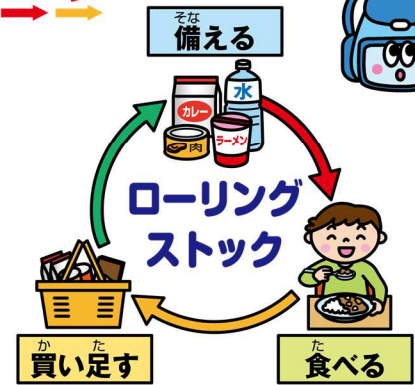


を見直しましょう



1923年9月1日に関東大震災が発生したことから、9月1日を「防災の日」と制定しています。秋は台風だけではなく、豪雨も頻発しています。予報が出てから水や食料品を買いに行ったら売り切れていた、ということのないように、日ごろから多めにストックしておくことが安心です。

水や食料品は最低3日分、できれば1週間分を備えておくことが勧められています。普段からよく食べているものを多めに買い置きし、食べたらずい「ローリングストック」で、無理なく備えましょう。



小美玉市の認定農業者を紹介します！



＜ブランド豚「ばんぶう」生産者＞
有限会社道口養豚 道口 誠さん

道口 誠さんは橋場美地区で養豚業を営んでいます。道口さんが育てているブランド豚「ばんぶう」は、竹パウダーを混ぜたエサを食べているので、肉は軟らかく、脂は甘くなり、さらに肉特有の臭みが少ないことが特徴です。「愛情たっぷりに育てているので、おいしく食べてください。」と話していました。小美玉市農産物等ブランド「小美玉のめぐみ」にも認定されている「ばんぶう」を、幼稚園・小学校は10日（水）、中学校は17日（水）に「豚肉とじゃがいもの甘辛炒め」で提供します。



農業について知ろう！～食料自給率ってなに？～

その国で食べている食べ物のうち、どのくらいが国で作られているのかを表すのが「食料自給率」です。日本の食料自給率は、昭和40年には73%でしたが、現在は38%まで下がっており、日本は食べ物の多くを外国から買うこと（輸入）に頼っています。

輸入国でいつもより作物ができなかったり、戦争などが起きたりすると、日本に食べ物が入ってこなくなり、食べ物が足りなくなってしまうかもしれません。そうしたことから、食料自給率を上げることはとても重要なことなのです。

しょくいく た かんしゃ 食育コラム ～食べられることへの感謝～

さいがい ていでん だんすい お しょくじ なに た
災害により停電や断水などが起こると、いつもの食事ができないだけではなく、何かを食べること
むずか がつついたち ぼうさい ひ ふく がつ にち がつつか
さえも 難しいかもしれません。9月1日は「防災の日」、それを含む8月30日から9月5日までは
ぼうさいしゅうかん あらた まいにち た かんしゃ き も さいかくにん
「防災週間」です。改めて、毎日食べられることへの感謝の気持ちを再確認しましょう。

た もの かんしゃ ◎ 食べ物への感謝 ◎



わたし ふだん た うし ぶた とり さかな どうぶつ こめ やさい しょくぶつ すべ い
私たちが普段食べている牛や豚、鶏、魚などの動物、米や野菜などの植物は全て生き
もの それぞれに いのち があり、私 たちの いのち すべ いのち し ぜん めぐ
物でそれぞれに命があり、私 たちの 命をつないでくれています。全ての 命、自然の恵
み、食べ物への感謝の気持ちを忘れてはいけません。

ふだん しょくじ た のこ へ しょくざい つか き くふう た もの
また、普段の食事で食べ残しを減らす、食材を使い切るように工夫するなど、食べ物を
む だ 無駄にしないことも大切です。

ひと かんしゃ ◎ 人への感謝 ◎



わたし め まえ しょくじ とど しょくざい そだ ひと はこ ひと つく
私たちの目の前に食事が届くまでには、食材を育ててくれた人や運んでくれた人、作って
くれた人、準備してくれた人など、見えないところでもたくさんの人が関わっています。全ての
ひと かんしゃ き も わす
人への感謝の気持ちを忘れてはいけません。

た お あと ちゃわん ◎ 食べ終わった後のごはん茶碗はきれいですか？ ◎

むかし い つた つぶ のこ め こめひとつぶ にん かみさま
昔からの言い伝えで、「ごはん粒を残すと目がつぶれる」、「お米一粒には100人の神様
がいる」などと言われています。どちらも、ごはん粒一粒でさえも残さずに大切に食べようと
おも おも ちゃわん つぶ のこ つぶ かんそう
いう思いからきています。また、茶碗にごはん粒が残ったままだとごはん粒が乾燥してしま
い、きれいに洗うには一苦労です。

た つく ひと ちゃわん あら ひと かんしゃ き も
ごはんを食べられること、そして作ってくれた人や茶碗を洗ってくれる人への感謝の気持ち
を忘れず、お箸を上手に使い、茶碗にごはん粒が残らないように、きれいに食べましょう。

しょくじ め まえ とど かか ひと かたづ
食事が目の前に届くまでに関わってくれた人、片付けをしてくれる
ひと かんしゃ き も わす
人への感謝の気持ちを忘れずにいただきましょう！